

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和5年第1回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 25

令和5年5月



特 集

ホタテ養殖・
加工業者

in あおもり

目 次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

特

集

ホタテ養殖・加工業者

in あおもり

今回のテーマは「ホタテ養殖・加工業者」。青森県はホタテガイ養殖の日本一で、特に陸奥湾はホタテの一大産地です。本市の令和3年のホタテガイの漁獲金額は25億円となっており、ホタテガイ養殖が漁獲金額の約9割を占めています。青森産のホタテは甘く高品質で、市場でもひととき人気ですが、一方で、昨年からホタテの稚貝の不足が問題になっています。今回は、ホタテの養殖から加工、販売まで行う「株式会社 やまじん 山神」の神社長と穂元専務にお話を伺いましたので、その内容をお届けします。

〔議員〕 本日はよろしくお願ひします。まずは、会社の概要をお聞かせください。

〔神社長〕 私たち山神は、主に半成貝、いわゆるベビーホタテと呼ばれる一年貝を養殖・加工しており、5年前からEUなどにも輸出しています。

〔議員〕 陸奥湾のホタテは北海道産に比べると甘みがあると言われますね。

〔神社長〕 そうです。八甲田に降った雪がミネラル豊富な雪解け水と

なっており、栄養豊富なプランクトンが発生し、そのおかげで成長が早く甘みも強い、おいしいホタテになります。

〔議員〕 稚貝の不足が言われていますが、原因は何ですか？

〔神社長〕 去年、母貝が放卵した時に、急激な海水温の変化で稚貝がへい死したことで、母貝の絶対枚数の不足だと言われています。また、親貝の二年貝を作っているむつ市、横浜町、野辺地町では、ここ3、4年、立て続けにへい死している影響が大きいです。

〔穂元専務〕 二年貝を作ってもへい死するリスクが高くなってしまったため、どんどん半成貝へ切り替えるという悪循環になっています。母貝保護のための取組が必要です。

〔議員〕 第一回定例会では、地まき放流用の半成貝の購入経費の半分の補助する補正予算が提出されま



今回の取材にご協力いただいた「株式会社 山神」の神武徳代表取締役社長(左)と穂元美幸専務取締役本部長(右)。神社長自ら、漁師として海に出てホタテの養殖をしています。

した(※)。市としても稚貝の減少に対して、自然繁殖を促す目的で支援をしていくという事です。ところで、御社の商品は青森市のふるさと納税の返礼品になりましたね。 ※閉会日において可決

〔種元専務〕 はい。すぐに食べられるお酒のつまみ、ごはんのおかずとして「ゴロゴロほたて」を開発しました。オリーブオイルとラー油の二種類のタイプがあり、大変好評をいただいております。開発に当たっては、誰にターゲットを当てるかで非常に悩みましたが、若い人に食べてもらわないと将来がないと思い、若い人や子どもたち向けに作りました。

〔議員〕 水にもこだわりがあるんですね。

〔種元専務〕 真水を使うと浸透圧でうまみが外に出てしまうので、沖合300mから海水をくみ上げ、飲料

水と同じレベルまできれいにした滅菌海水を、全ての製造工程で使っています。我々の自慢の一つです。〔議員〕 海外への輸出もしているとのことでしたが？

〔種元専務〕 近年、ホタテの輸出はすごい勢いで伸びていて、水産物の中でもナンバーワンです。ただ、この手の加工品はその国々で規制が厳しいのが現状ですので、我々としては、原材料のままではなく、付加価値を付けた商品を発信したいと思っています。

〔議員〕 玄関にいろいろな認定書が飾ってありましたね。

〔種元専務〕 EU-HACCP^{ハサップ}や対米EU-HACCP等の認定を頂いております。海外では証明を求めるのが標準になっているので、海外に輸出する際には必須です。〔議員〕 市に対して何か要望はありますか？



青森市ふるさと納税の返礼品になっている「ゴロゴロほたて」のオリーブオイル&ラー油

〔種元専務〕 なかなか後継者が育たないという問題があります。漁師さんが生産しやすい環境、海水温などに影響されない稚貝作りに力を入れてほしいと思います。

〔神社長〕 ホタテの残さ処理は、ほかの地域では事業者ごとに処分していますが、青森市は、漁協ごとに集めて、清掃工場で処分しています。残さへの支援は、引き続きよろしく願います。

〔議員〕 本日は、貴重なお話をいただき、ありがとうございます。



取材を終えて。ご協力誠にありがとうございました。

(取材日：令和5年2月14日)

青森市議会

議決した主な議案です。

令和5年第1回定例会

会期32日間 2月21日～3月24日

第1回定例会で可決等した

議案・請願

- 市長提出議案81件中……………81件
 (可決76件、同意5件)
- 議員提出議案13件中……………8件
 (可決)
- 請願2件中……………0件
 (採択)

■以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和5年度当初予算案を可決しました

今期定例会では、開会日に、令和5年度当初予算案として、一般会計をはじめ、8つの特別会計、5つの企業会計及び39の財産区特別会計の計53件の議案が提案されました。

このうち、一般会計予算については、市長から、令和5年度の当初予算は、新たな判断を要する政策的経費の一部を計上しない「骨格予算」と位置づけ、予算規模は1千229億700万円となり、令和4年度当初予算との比較では、9億400万円の減となったとの提案理由の説明がありました。

市議会では、財産区を除く一般会計、特別会計及び企業会計合わせて総額2千597億8千623万7千円に上る同案のうち、一部予算案については採決を行い原案のとおり可決し、その他の予算案については全会一致で可決しました。

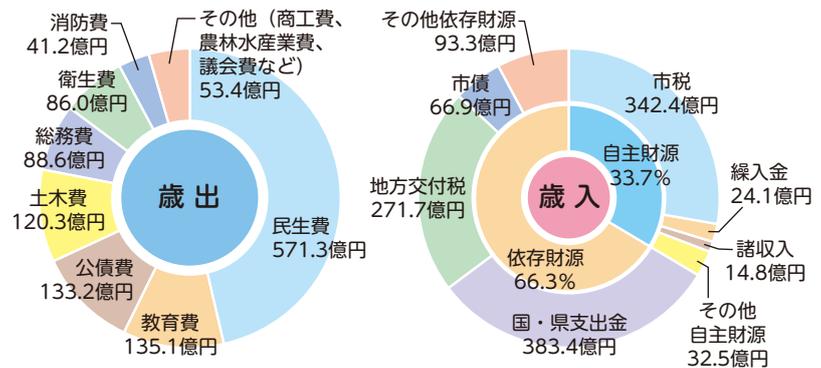
令和5年度特別会計・企業会計予算額

会計名	予算額	対前年度増減
競輪	298.1億円	11.7億円
国民健康保険	261.6億円	△15.8億円
宅地造成	0.9億円	△2.2億円
卸売市場	8.1億円	△0.2億円
介護保険	326.3億円	12.0億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.2億円	0.6億円
後期高齢者医療	39.4億円	1.9億円
駐車場	2.2億円	△0.2億円
合計	937.8億円	7.8億円
病院	139.9億円	0.3億円
水道	92.3億円	△3.5億円
自動車運送	28.8億円	△1.6億円
下水道	164.2億円	0.1億円
農業集落排水事業	5.8億円	△0.2億円
合計	431億円	△4.9億円

令和5年度青森市一般会計予算額

1229億700万円

(対前年度：-9億400万円)



その2

令和4年度3月補正予算案を
可決しました

今期定例会では、令和4年の海水温等の影響に伴い、ホタテガイ稚貝保有量が減少したため、本市の主要水産物であるホタテガイ生産を漁業者が安定的に行えるよう、母貝確保対策及び漁業団体経営支援を実施するための経費のほか、保育所や障害児通所支援事業所等の送迎バス内における幼児等の見落としを防止するため、ブザーやセンサー等の安全装置の装備に要する経費等を計上した一般会計補正予算案が提案されました。

市議会では、これら議案について全会一致で可決しました。

なお、補正後の令和4年度一般会計予算額は、次のとおりとなりました。

●令和4年度青森市一般会計補正

予算額 41億1千136万3千円

補正後の予算額

1千381億630万6千円

その3

青森市国民健康保険条例の一部を
改正する条例案を可決
しました

●青森市国民健康保険条例の一部を 改正する条例

今期定例会では、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、青森市国民健康保険条例において改正が必要な項目について改正する条例案が提案されました。

改正内容については、国民健康保険の被保険者が出産した際に支給される出産育児一時金について、出産にかかる費用が年々増加していることから、国の社会保障審議会医療保険部会において、全国一律で50万円に引き上げるべきという方針が決定されたことを踏まえ、出産育児一時金の支給額を、40万8千円から48万8千円に改正するものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その4

青森市都市公園条例等の一部
を改正する等の条例案を可決
しました

●青森市都市公園条例等の一部を改 正する等の条例

今期定例会では、令和6年7月の供用開始に向け整備を進めている（仮称）青森市アリーナについて、名称を青森市総合体育館と定めるほか、施設の位置づけや利用料金の基準額の設定など、維持管理・運営業務に係る条例に関して、所要の改正等を行う条例案が提案されました。

改正内容については、青森市総合体育館及び青い森セントラルパーク駐車場を有料公園施設として設置し、当該施設の利用料金の基準額を定めるほか、青森市総合体育館の供用開始に合わせ閉館する青森市民体育館に係る規定を削除する等、所要の改正を行うものです。

市議会では、同案について採決を行った結果、原案のとおり可決しました。

質 問 ・ 質 疑

こんなことを

聞きました。

第1回定例会において行われた一般質問及び議案質疑の中から、一議員につき一項目の質問及び答弁の要旨を掲載しています。

● 質問・質疑を行った議員数

● 第1回定例会

一般質問 …………… 24名
予算特別委員会 …………… 20名
(小豆畑委員長、竹山副委員長)

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしていますので、下のQRコードからアクセスの上、御覧ください。



災 害



高潮ハザードマップの概要について

公明党 工藤 夕介
くどう ゆうすけ

Q 防災対策において、津波等とともに欠くことができない高潮対策ですが、高潮ハザードマップの概要をお示しください。

A 県では、令和4年度中に青森市及び蓬田村を高潮浸水想定区域として指定する予定と伺っています。市では、この指定を受けた後、県が公表する高潮浸水想定に基づき、市民の迅速な避難行動や高潮に対する防災意識の啓発を図るため、高潮に関する情報や高潮浸水想定区域、浸水想定深、浸水継続時間などを記載した当該マップを作成することとしています。

総 務



行政の効率化について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q 市の職員提案制度の提案実績についてお示しください。

A 職員提案制度は、職員から提案を募集し、市民サービスや事務効率の向上などの効果が見込まれるアイデアの事業化を目指すものです。これまでの主な実績としては、駅前庁舎の床面への案内表示の設置、水道料金のスマホアプリ決済の導入などが実施されています。また、公民連携の仕組み化に関する提案を踏まえ、公民連携に係る総合窓口を設けるため、令和5年度から連携推進課を新設することとしたところです。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

※各議員が行った全ての質問・質疑のうち、一項目だけを選択して掲載しています

施設管理

Q 市は、アウガに関する新たな管理スキームについて、当面見直す考えはないのでしょうか、当面とは、20年という区切りがあると考えますが、見解をお示しく下さい。

A 平成29年度以降のビル全体の管理業務に当たり、床の賃借料の無償化など、地権者の方々にもご負担いただき、共益費、地代等と一体とした管理スキームを改めて構築しており、特段の事情変更がない限り、見直す考えはございません。なお、使用貸借契約の期間は平成29年4月1日からの20年間となっています。



アウガについて

あomorい令和の会
中村 美津緒

財政

Q 令和4年度の当該交付金の交付額及び活用事業をお示しく下さい。

A 本市における令和4年度の当該交付金の交付額は36億7千781万9千円で、活用した主な事業は、市民の生活を応援し、消費喚起につなげるための「青森市プレミアム付商品券事業」や、小売業・飲食サービス業等の市内事業者に対し、事業継続に必要な経費を支援する「事業継続支援緊急対策事業（家賃支援）」のほか、保護者負担の軽減に向けた取組である「市内小・中学校の給食費の無償化」などとなっています。



新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金について

あomorい令和の会
藤田 誠

消防

Q 今後、高齢化が進むと、救急搬送される人数は増える傾向にあると考えますが、現在、市内の消防職員で救急救命士の有資格者は、何人いるのかお示しく下さい。

A 本市における救急救命士については、救急隊1隊につき4名から6名、救急隊の合計10隊で合計56名を配置しているところです。救急出動件数は増加しているものの、救急救命士については、退職等による欠員に対し計画的に資格者の養成に努めており、これまでの救急業務全般においても大きな支障は来していないところです。



消防行政について

市民クラブ
奈良 祥孝

市民生活



性的マイノリティーについて

日本共産党 相馬 純子

Q 市における、性的マイノリティーについての理解促進のための取組状況をお示しく下さい。

A 青森市男女共同参画プランにおいては、性的マイノリティーの方々に対し、人権の尊重と多様性の観点から配慮する必要があるとされています。この考えのもと、「にじいろ電話相談」の開設や市民向け講座の開催、男女共同参画情報紙への性的マイノリティーに関する用語解説等の基礎知識や啓発記事の掲載、庁内各課における申請書等の性別欄の見直しなどの取組を行っています。

市民生活



市のDV相談実人数と相談延べ件数について

自民クラブ 小豆畑 緑

Q 国におけるDV相談件数は、令和2年度は18万2千188件、令和3年度は17万6千967件で、毎月1万6千件程度寄せられており、高水準で推移していますが、本市のDV相談支援センターに寄せられている相談実人数と相談延べ件数についてお示しく下さい。

A 市のDV相談支援センターにおける、平成27年度以降の隔年のDV相談実人数及び延べ件数については、平成27年度は64人で244件、平成29年度は84人で380件、令和元年度は129人で636件、令和3年度は127人で655件となっています。

市民生活



マイナンバーカードについて

日本共産党 山田 千里

Q マイナンバーカードについて、DV等支援措置対象者に対し、どのような説明を行っているのか、お示しく下さい。

A 市では、当該カードが加害者の元であり、悪用のおそれがある場合は、速やかにカードの一時停止を行った上でマイナンバーを変更するほか、マイナポータルから当該カードを利用した対象者本人の税情報や子育て等に関する情報などは、不開示となり確認できなくなることなどについて、書面を渡ししながら、これら注意事項を説明しています。

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

市民生活



窓口における音のバリアフリーについて

あおもり令和の会
里村 誠悦

Q 窓口における会話アシストシステム等の導入について、市の考えをお示しく下さい。

A 当該システムは、窓口でのパーテーション越しの双方向の会話を聞こえやすくするものですが、市民課窓口では、職員が大きな声ではっきりお伝えすることを心掛けるなどとして、お客様との意思疎通を図っています。市では、今後の窓口のパーテーション設置の有無について、国等の動向を注視し、引き続き、お客様との意思疎通の確保に努めながら対応してまいりたいと考えております。

観光



東北絆まつりについて

あおもり令和の会
澁谷 洋子

Q 東北絆まつり2023青森の実施体制についてお示しく下さい。

A 6月17・18日に本市で開催される当該まつりの実施体制については、東北6市の市長等で構成する東北絆まつり実行委員会を組織し、会長は開催市の青森市長、事務局は市のほか、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会の職員で構成しています。令和4年度は、経済部観光課内にプロジェクトチームを設置し、現在、3月末の実施計画策定に向け、事業者とパレードの運営などについて詳細な調整を行っています。



東北絆まつり出陣予定の「龍王(竹浪 比呂央 作)」

農林水産



米価下落に対する農業政策について

あおもり令和の会
小倉 尚裕

Q 青森市米価下落緊急対策事業の概要と実施状況をお示しく下さい。

A 当該事業は、令和4年産水稻種子購入費を補助する水稻種子購入支援事業、令和4年の農業経営収入保険の保険料を補助する収入保険加入促進事業、市内外の大学等に通う本市出身の学生等へ本市産米を送付する青森市産米消費拡大(学生応援プロジェクト)事業の3つを実施し、それぞれ、602件の申請で申請額は2千504万4千754円、215件の申請で申請額は1千185万7千571円、2千360件の発送件数で570万501円の実績額となっています。



リンゴ生産支援について

自民クラブ 長谷川 章悦

Q 近年、リンゴ生産者から、老朽化したスピードスプレーヤーの更新の要望が出てきていますが、市の考えをお示しく下さい。

A スピードスプレーヤーの更新については、果樹生産防除機械・施設整備事業の中で、平成24年度からの5年間で合計15台の支援をしています。スピードスプレーヤーの更新への支援については要望する団体もありますが、更新への支援には、共同防除組織の担い手や、それに伴うスピードスプレーヤーの運営方法等を含めて整理する必要があると考えられています。



果樹園の薬剤散布に使用されるスピードスプレーヤー

農林水産



青森市ホタテガイ生産力強化支援事業について

公明党 山本 武朝

Q 今定例会において、補正予算で提案されている当該事業の内容をお示しく下さい。

A 当該事業は、令和5年4月から6月頃に出荷予定の半成員を漁業協同組合が漁業者から購入し、自然繁殖を促すために地まき放流を行う経費の2分の1を補助するホタテガイ母貝確保対策事業及び漁業協同組合が漁場の管理を行うための経費として、ホタテガイ養殖漁業者が養殖施設数に応じて負担する漁業行使用料を免除する経費の2分の1を補助する漁業団体経営支援対策事業を行うものです。



ホタテの水揚げ作業の様子

農林水産



青森市ホタテガイ生産力強化支援事業について

あもり市令和の会 館山 善也

Q ホタテガイの母貝確保に関する事業により、本市のホタテ産業の将来像がどのようになることを期待しているのか、お示しく下さい。

A 市としては、令和6年に産卵する母貝を確保し、将来にわたって安定的かつ継続的にホタテガイ養殖に取り組むことができる環境を整備するためのホタテガイ母貝確保対策事業や漁業団体経営支援対策事業により、母貝の確保や養殖への支援などを行い、ホタテガイの安定的生産・供給が将来にわたってつながっていくことを期待しているものです。

農林水産

教育

A 浪岡中学校の校舎において、屋上防水全体の劣化による雨漏りが発生していることを踏まえ、令和4年度に屋上防水工事の設計を行ったところ。浪岡中学校は校舎の規模が大きいことから、令和5年度には一般教室棟、木工金工室棟、昇降口棟の工事を、令和6年度には管理・特殊学級棟、特別教室棟、普通教室棟につながる渡り廊下の屋上防水工事を実施することとしています。



浪岡地区の教育環境について

日本共産党
あまなひ
天内 慎也
しんや

Q 浪岡中学校の校舎屋上防水工事の設計が進められていますが、今後の工事予定をお示しください。

教育

A 令和4年度のはたちのつどいの開催に当たり、式典終了後から令和5年1月9日までの間、やむを得ず当日式典に参加できない方などが記念の写真撮影をできるよう、駅前庁舎1階に記念写真撮影ブースを設置しました。設置期間を延長することについては、令和5年度のはたちのつどいの開催に向けて、前倒しによる設置について検討してまいります。と考えています。



令和4年度、駅前庁舎1階に設置したはたちのつどい記念撮影スポット



はたちのつどいの記念写真撮影ブースについて

公明党
わたなべ
渡部 伸広
のぶひろ

Q 当該ブースにおいて撮影できる期間を前倒しするなど、期間を延ばしていただきたいと思いますが、市の考えをお示しください。

文化財

A 又八沼に生息するシナイモツゴについては、地元町会を中心に構成される「シナイモツゴを守る会」が、現在まで保護活動を行ってきましたが、令和2年8月に、又八沼から本県には自然分布しないモツゴと思われる個体が発見されています。今後、種の置き換わりが進み、最終的にシナイモツゴは絶滅する可能性が高いと考えられることから、引き続き同団体の保護活動に協力してまいります。



又八沼に生息するシナイモツゴについて

自民クラブ
かしだ
柿崎 孝治
たかじ

Q 市の天然記念物に指定されている又八沼に生息するシナイモツゴの現状についてお示しください。

交通



市バスについて

日本共産党

赤平 あかひら

勇人 ゆうと

Q 令和5年3月22日から、市バス岡町線の発着場所を古川から青森駅西口へ変更することですが、

乗り継ぎを考えたときに、これまで利用してきた岡町住民の負担が増えると思います。このことについて、市の見解をお示しく下さい。

A 発着場所を古川から青森駅西口に変更することで、鉄道との乗り継ぎ環境が向上すること、また、市営バスも多くの便が青森駅東西広場に乗り入れており、そのバス同士の乗り継ぎもスムーズに行えるなど、利用者の利便性は向上するものと考えています。



今冬の除排雪について

市民クラブ

木下 きのした

靖 せい

Q 今冬の除排雪事業の実施状況についてお知らせください。

除排雪

A 今冬の除排雪については、全面委託工区を155工区から164工区に、雪捨て場を33か所から35か所に、ボランティア団体等に貸出す小型除雪機を41台から50台に増やすなど、除排雪体制を強化し実施しました。また、豪雪対策本部の設置に伴い、市職員による小型ロータリ除雪車での歩道除雪等の実施のほか、パトロール班の12班から14班体制への対応強化、雪に関する相談の受付時間の2時間延長など、本体制を強化したところ

です。



除排雪作業の様子



冬期間の道路のマンホールについて

日本共産党

村川 むらかわ

みどり

Q 冬期間の道路において、マンホールの熱による段差で交通に支障が生じている箇所がありますが、この段差を解消するために、発泡ポリエチレン製のマンホール蓋を設置する考えはないでしょうか。

A マンホールの断熱蓋の設置には多額の費用を要することや、マンホールの存在を圧雪が覆い隠すことにより、突発的な異常発生時にマンホールの位置特定に時間を要し、迅速な対応が困難になることが懸念されることから、市としては、断熱蓋設置には慎重にならざるを得ないと考えています。

道路



マンホール内部からの熱を防ぐ断熱蓋(黄色の蓋)

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

環境



(仮称) みちのく風力発電事業について

あおもり令和の会

木村

淳司

Q

令和4年第4回定例会において、「(仮称) みちのく風力発電事業の中止を求める請願」が全会一致で可決されましたが、その後の市の取組をお知らせください。

A

当該事業は、株式会社ユーラスエンジニアホールディングスが計画する風力発電事業であり、令和4年第4回定例会において、事業の中止を求める請願が全会一致で採択されたこと、また、事業者側から誠意ある対応が早期に示されないことを踏まえ、本市として、当該事業に対し反対の立場で対応してまいります。

環境



本市の温室効果ガスの削減状況について

無所属

小熊

ひと美

Q

温室効果ガスの削減目標について、本市の地球温暖化対策実行計画では、2030年度までに2013年度比で31%の削減としておりますが、2021年に国が新たに46%削減の目標を掲げた後も、そのままとなっております。早急な削減目標の引上げが必要と考えますが、本市の削減状況は、2013年度比で何%となっているのかお示しください。

A

本市の2020年度における温室効果ガス排出量は241・2万トンCO₂であり、基準年度の2013年度から35・7万トンCO₂が減少し、率にして、12・9%の削減となっております。

環境



不法投棄について

あおもり令和の会

木戸

喜美男

Q

雪解け後、空き地や山林等に家電などの不法投棄が見られるかと思いますが、本市の一般廃棄物の不法投棄発生確認件数について、過去3年間の実績をお示しください。

A

市では、不法投棄に対する未然防止及び再発防止対策に努めており、本市における過去3年間の実績については、令和2年度が155件、令和3年度が75件、令和4年度が令和5年2月末時点で63件と、近年は減少傾向となっております。なお、これらについては撤去等の適正処理が図られていることを確認しています。

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

環境



高齢者のごみ出し支援について

自民クラブ 関 貴光

Q 本市における高齢者のごみ出し支援制度導入に向けた検討状況をお示しく下さい。

A ごみ出しの地域の実態把握については、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町会等からの聞き取りを中断していますが、実態把握は不可欠と考えていることから、今後の感染状況を踏まえつつ、「青森市ごみ問題対策市民会議」などの各種会議等を活用して聞き取りを進め、豪雪地帯である本市の地域特性を踏まえた効果的な方策について、関係部局と協議してまいります。

福祉



日中一時支援事業について

市民クラブ 竹山 美虎

Q 本市の日中一時支援事業について、これまでの経過と現状をお示しく下さい。

A 当該事業は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に規定する市町村の判断により実施することができる事業の一つで、一時的に見守り等の支援が必要な障がいのある方などが利用できます。本市では、平成18年10月の障害者自立支援法の施行による障害者支援制度の見直しを受け事業を開始しており、現在は30か所の事業所に委託し、利用決定者は31人となっています。

福祉



障害者手帳アプリについて

公明党 軽米 智雅子

Q 国では、障害者手帳をスマートフォンに表示できる障害者手帳アプリとマイナポータルを連携させることにより、信頼性の高い情報として事業者に提供できるようにしました。市の公共施設でもアプリの提示による使用料の減免を受けられるようにするべきと思います。が、考えをお示しく下さい。

A 当該アプリの活用は、障がいの利便性を向上する観点から効果的であると考えられることから、関係部局等へ理解と協力を求め、障がい者割引の際の本人確認の簡素化を検討してまいります。

福祉

A 相談対応については、障がい者支援課や市内5か所の委託相談支援事業所等が窓口となり対応しております。また、発達障がいのある方の利用可能な制度については、精神障害者保健福祉手帳の取得、障害福祉サービスの利用、精神科通院等に係る医療費の助成制度である自立支援医療（精神通院医療）の利用等があります。

Q 平成28年8月に、発達障害者支援法が改正されましたが、本市における成人期の発達障がいのある方への相談対応と利用できる制度についてお示しください。



成人期の発達障がいについて

日本共産党

万徳 まんとく

なお子 なおこ

福祉

A 令和4年4月からの保険適用後、原則、医療費の3割を窓口で負担することで不妊治療を受けられるようになりました。不妊治療への助成については、治療内容などにより、医療費や治療期間も異なり、自己負担額にも差があることから、まずは保険適用後の治療内容や自己負担額などについて、医療機関や助成を実施している他市の状況を確認してまいります。

Q 子どもを産み育てる環境を整えるために、市として不妊治療費の助成をする考えはないかお示しください。



不妊治療への助成について

自民クラブ

中田 なかた

靖人 やすひと

病院

A 新病院になると、医療従事者の集積、最新のICT技術の活用、老朽化・動線複雑化などの解消が図られることになり、患者の待ち時間対策にも効果を及ぼすものと考えられます。例えば、予約から受付、会計までをスマートフォンで行える予約システム等、患者に待ち時間を感じさせない受入れ環境について検討を進めてまいります。

Q 現在、県立中央病院、市民病院ともに外来患者の待ち時間が長く、統合新病院になれば一層の混雑が見込まれます。どのような対策を想定しているのかお示しください。



共同経営・統合新病院について

無所属

蛭名 えびな

和子 かずこ

市議会での感染症対策について

市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、定例会の開催に当たって、様々な取組を行ってきましたが、令和5年第1回定例会において、運営スキームの一部を改正しました。主な改正は次のとおりです。

- 傍聴席は、傍聴者同士の間隔を広げるため、一部の席を利用不可としていましたが、今定例会では、全ての席をご利用できるようにしました。
- 一般質問の際の議員の出席者は、半数程度となるよう各会派で人数を調整していましたが、今定例会では、全ての議員及び理事者が出席することとしました。

なお、傍聴を希望される方、また、議員及び理事者においては、引き続き、マスクの着用、入場前の体温計測・アルコールによる手指消毒を行っています。

市政及び市議会に関するアンケートの 集計結果を市に送付しました

令和4年「議員とカダる会」の代替措置として、令和4年8月から10月にかけて実施した当該アンケートに、多くの皆様からご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

頂いたご意見等については報告書にまとめ、執行機関に伝えたほか、ご意見の一部については「議会の意見」として執行機関に回答を求めていますので、後日、その回答は市議会ホームページ等を通じてお知らせいたします。

◆ 「ぎかいの森」についてのアンケート結果について

今回、実施したアンケートのうち、「ぎかいの森」に関する質問をしていますので、そのご意見の一部をご紹介します。

■ 回答者数：21人

問

市議会では、あomor市議会だより「ぎかいの森」を年4回発行していますが、「ぎかいの森」に対するご意見、ご要望などがありましたら、何でもお聞かせください。

- ◆ 青森市が抱えている課題や取組が分野ごとにわかりやすくまとめられているため、毎回関心を持って拝読しております。
- ◆ 毎回丁寧に見えます。議会の審議の状況、議員の質問など、理解できて、良い編集です。
- ◆ 毎号楽しみにしている。文字サイズ、フォント、行間等たいへん読みやすく、好感がもてる。
- ◆ 特にない。毎回読んでいます。ただ議員の質問に対して、受け流す回答が多い気がする。
- ◆ 議会で話し合われた内容は、専門用語をなるべく少なくすべきだと思う。

※ご意見については、基本的に寄せられた文面そのままにしています。

なお、「ぎかいの森」はご自宅に届く紙の紙面や、市議会ホームページでご覧になれるほか、無料アプリ「マチイロ」ではスマホやタブレット端末からご覧になれます。

編集後記

議会だより編集会議
副会長 里村 誠悦

今期定例会の一般質問では質問者が24名で、除排雪や風力発電、教育についてなどの質問がありました。私は、市政発展のためには、青森市がどのような経緯を経て現在に至ったのかなど、市の歴史を知ることが必要だと考えます。皆様も、本市の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

令和5年第1回定例会の傍聴者は86人でした。



市議会ホームページ <http://www.city.aomori.aomori.jp/gikai/top.html>